

# 第32回 秋田県優良工事表彰



秋田県マスコット スギッチ

平成23年8月  
秋 田 県

表紙：第32回秋田県優良工事表彰から

右上：県単河川改良事業（小阿仁川）K165-40工事

中央：こども総合支援エリア（仮称）屋外運動場等整備工事

左下：地すべり防止事業（狼沢地区）第RH1113A312号工事

# 第32回 秋田県優良工事表彰式

と き 平成23年8月29日(月)  
午後3時45分～5時  
ところ 秋 田 県 庁 正 庁

## 次 第

1. 開会のことば
2. 式 辞 知 事
3. 審 査 報 告 建設交通部次長
4. 表 彰 状 授 与 知 事
5. 来 賓 祝 辞 県議会副議長
6. 受 賞 者 謝 辞 受賞者代表
7. 閉会のことば



第32回秋田県優良工事表彰から  
北秋田地区統合高校(仮称)体育館棟 建築工事  
(北秋田市伊勢町)

## 目次

・ お祝いの言葉	2
・ 第32回秋田県優良工事表彰について	3
・ 第32回秋田県優良工事表彰工事一覧表	4
・ 表彰工事の概要	6
・ 秋田県優良工事表彰選考委員会および幹事会名簿	29
・ 秋田県優良工事表彰要綱	30



秋田県知事  
佐竹 敬久

### お祝いの言葉

第32回秋田県優良工事表彰を受賞されました皆様に対し、心からお祝い申し上げます。

この表彰制度は、県内建設企業の技術力の向上を目的に、昭和55年に創設され、今年で32年を迎えました。

今回受賞された23件は、対象となる1,933件の工事から選定されたもので、優れた施工技術と綿密な施工管理の下に完成された他の模範となる工事であります。

昨今、公共工事のあり方については様々な議論がなされておりますが、このたびの震災復興における建設業の果たす役割が大きいことからもわかるとおり、国民共有の豊かな自然や資源を保全しつつ、安全で快適な生活環境の形成や地域の発展の根幹となる産業基盤の強化に、多大な貢献をしているところであります。

今後とも、県内建設業者の受注機会の確保、県内経済の活性化に努めるとともに、技術力と経営力に優れた企業が適正に評価される入札方式の環境づくりに努めて参ります。

受賞された皆様をはじめ、建設産業に携わる方々におかれましては、本県における社会資本整備の担い手として、一層の御尽力を賜りますようお願い申し上げます、お祝いのことばといたします。

## 第32回秋田県優良工事表彰について



秋田県優良工事表彰幹事長  
秋田県 建設交通部 次長  
星野 隆

秋田県優良工事表彰は、建設技術の向上を図ることを目的に、県発注工事の中から特に優秀な工事を選定し、これを施工した県内企業と技術者を表彰するもので、表彰には、「優良工事表彰」と単独企業として優良工事表彰5回目の受賞者に与えられる「特別表彰」に加え、小規模工事ながら地域の発展に寄与している企業に対して、各地域振興局長が表彰する「地域振興局長表彰」を20年度から設けております。

今回は、平成22年度に完成した工事の中から、23件の工事を優良工事として表彰するもので、施工者の内訳は20社、3共同企業体となっております。このうち、3社が5回目の受賞となるため、これを特別表彰とするものです。

これらの工事においては、GPSの活用による施工精度の向上などの高度な技術力はもちろん、安全対策における独自の取り組みや、水質汚濁防止等の創意工夫、関係機関・地域住民との円滑な調整などがみられます。このように、綿密な施工管理の下に完成された出来形や品質・出来映えに加え、施工プロセスにおいても特に優れていると評価されたものであり、その御努力に対し敬意と感謝を表すものであります。

今回の優良工事表彰を機に、維持管理時代に対応した新たな技術の習得など、今後とも一層の技術の研鑽と創意工夫に努められますことを期待しております。

## 第32回 秋田県優良工事表彰 工事一覧表 (1/2)

番号	受賞回数 特別表彰	工事名	工事箇所	施工業者	代表者名	発注公所
1	1	米代川流域下水道事業 (大館処理区) YD41-10工事	大館市 片山	能代電設工業株式会社	山田 倫	北秋田地域振興局
2	8	県単河川改良事業 (小阿仁川) K165-40工事	北秋田市 三木田	株式会社佐藤庫組	佐藤 昌郁	北秋田地域振興局
3	5 今回 特別表彰	地方道路交付金事業 (脇神地区) FI90-10工事	北秋田市 脇神	秋田土建株式会社	北林 一成	北秋田地域振興局
4	6	国道道路改築事業 (葛原バイパス) HA23-30工事	大館市 葛原	花岡土建株式会社	鈴木 泚士	北秋田地域振興局
5	佐藤庫 8 イトウ 5 大成 0 平和 4	北秋田地区統合高校(仮称) 体育館棟 建築工事	北秋田市 伊勢町	佐藤庫・イトウ・大成・平和 特定建設工事共同企業体	佐藤 昌郁	北秋田地域振興局
6	4	フォレストコミュニティ総合整備 事業(米代線奥小比内1工区) 第RC1202A705号工事	藤里町 藤琴	北部建設株式会社	北林 孝	山本地域振興局
7	4	岩館漁港 地域水産物供給 基盤整備事業 第01201号工事	八峰町 八森	大森建設株式会社	大森 三四郎	山本地域振興局
8	1	県単河川改良事業(天内川) 21-K213-10工事	能代市 天内	有限会社千秋資材	大齒 淳子	山本地域振興局
9	4	地方道路交付金事業 (国道101号) 22-HF13-10工事	能代市 須田	成田建設株式会社	成田 保	山本地域振興局
10	1	男鹿浦田地区 農地集積加 速化基盤整備事業 第22601号工事	男鹿市 脇本浦田	有限会社 グリーンサポート男鹿	松橋 正治	秋田地域振興局
11	2	銅屋地区 経営体育成基盤 整備事業 第21701号工事	秋田市 雄和相川	秋田舗道株式会社	本郷 真	秋田地域振興局
12	4	道路災害復旧事業 (軽井沢工区) 0002-20工事	由利本荘市 矢島町	山科建設株式会社	小川 邦則	由利地域振興局
13	3	県単河川改良事業(清水川) K298-60工事	にかほ市 象潟町	コマツ建設株式会社	小松 功	由利地域振興局
14	2	鶯野地区 農地集積加速化 基盤整備事業 第07411号工事	大仙市 下鶯野	有限会社藤澤技建	藤澤 昇	仙北地域振興局
15	5 今回 特別表彰	神岡西部地区 農地集積加 速化基盤整備事業 第26303号工事	大仙市 北檜岡	株式会社宮原組	宮原 竜也	仙北地域振興局
16	3	強首2期地区 農地集積加 速化基盤整備事業 第28201号工事	大仙市 強首	株式会社最上田組	最上田 政司	仙北地域振興局
17	5 今回 特別表彰	通常砂防事業(小杉崎沢川) LA62-10工事	美郷町 浪花	株式会社沢野建設	澤野 ノリ子	仙北地域振興局
18	2	地方道路交付金事業(改築) HF32-10工事	横手市 平鹿町	ミノル工業株式会社	神谷 俊彦	平鹿地域振興局
19	3	地すべり防止事業 (狼沢地区) 第RH1113A312号工事	東成瀬村 椿川	奥山ポーリング株式会社	奥山 和彦	雄勝地域振興局

※ 受賞回数は企業単独として受賞した回数で、共同企業体として受賞した回数は含まない

## 第32回 秋田県優良工事表彰 工事一覧表 (2/2)

番号	受賞回数 特別表彰	工 事 名	工事箇所	施工業者	代表者名	発注公所
20	2	通常砂防事業(谷地沢) LA83-10工事	東成瀬村 椿 川	大橋建設株式会社	古谷 秀克	雄勝地域振興局
21	大館桂 0 巽 0 日通 0 古家 0	北秋田地区統合高校(仮称) 教室・管理棟 機械設備工事	北秋田市 伊勢町	大館桂・巽・日通・古家 特定建設工事共同企業体	中田 直文	教 育 庁
22	岩野 0 岡田 0 平鹿 0	湯沢地区統合高校(仮称) 校舎・専攻科棟 機械設備工事	湯沢市 湯ノ原	岩野・岡田・平鹿 特定建設工事共同企業体	岩野 信雄	教 育 庁
23	2	こども総合支援エリア(仮称) 屋外運動場等整備工事	秋田市 上北手	むつみ造園土木 株式会社	佐々木 創太	教 育 庁

※ 受賞回数は企業単独として受賞した回数で、共同企業体として受賞した回数は含まない

# 1 第32回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

## ◆工事概要

工 事 名	米代川流域下水道事業（大館処理区）YD41-10工事		
施工地名	大館幹線（大館市片山）		
商号又は名称	能代電設工業株式会社	許可番号	05-007936
請 負 額	45,150,000 円	工 種 ・ 格 付	機械器具設置 A級
代 表 者	代表取締役 山田 倫		
監理技術者等	現場代理人 戸松 勝彦		
発注公所	北秋田地域振興局（建設部）		
主任監督員	岡部 武保	監 督 員	近藤 怜
工 期	平成21年10月2日～ 平成22年11月30日	完成年月日	平成22年11月19日
概 要	1) 片山中継ポンプ場への酸素注入装置設置工事 酸素発生器 1台、空気圧縮機 1台、給排気設備 1式、配管設備 1式		
特 徴	1) 下水圧送管内の硫化水素ガス発生抑止工事		
写 真			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>片山中継ポンプ場</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>酸素発生器</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>酸素注入管</p> </div> </div>			

## ◆発注公所の表彰理由

- ・本工事は、下水道の重要な施設の一つである中継ポンプ場の機械設備工事であるが、設備全体の機能を細部まで把握することはもちろん、自らメンテナンス性を考慮した主要機器の配置を提案する等、高い技術力や創意工夫により、より良い設備設置が可能となった
- ・また、配置技術者の品質管理及び工程管理能力も高く、余裕を持って工期内に完成させた
- ・さらに、機器搬入時の門型クレーンの導入や、室内作業時の換気設備配置など、きめ細やかな仮設計画も実施しており、出来形だけでなく、全体を通してのきめ細かい体制も評価できる

## ◆施工業者からのPR

- ・当工事は機械設備工事ですが、工場試験時においては品質向上のため、別工事である電気設備の機器も同工場で、実際の使用条件に類似した状況で試験を実施しました
- ・施工にあたり、適切にご指導を頂きました発注当局、並びに関係各位の皆様には心から感謝を申し上げます
- ・「私達は、常にお客様の信頼と満足を目指し、より質の高い工事とサービスを提供致します」という企業理念に基づき、信頼の得られる企業として精進して参ります

## 2 第32回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工事名	県単河川改良事業（小阿仁川）K165-40工事		
施工地名	北秋田市三木田		
商号又は名称	株式会社佐藤庫組	許可番号	05-006597
請負額	58,493,400円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役 佐藤 昌郁		
監理技術者等	現場代理人 岸野 雄馬		
発注公所	北秋田地域振興局（建設部）		
主任監督員	小玉 章一	監督員	渡部 英範
工期	平成21年12月11日～ 平成22年5月28日	完成年月日	平成22年5月27日
概要	1) 施工延長 L=62.3m      2) 床止工 (H=3.8m) N=1基 3) 護床工 N=242個      4) 矢板護岸工 (L=6.0m) IIW型		
特徴	1) 河川内での施工のため、春の雪解けによる河川の増水等が懸念される中での破損構造物の撤去と新設の同時作業工事 2) 施工区域内での鮭の産卵により、水温測定と地元漁協や県水産振興センターの協力による生育調査の実施		
写 真			
			
完成写真	産卵した卵の生育調査	景観に配慮した配置	

### ◆発注公所の表彰理由

- ・現場内に鮭の産卵が確認されたことから卵の生育調査を行うにあたり、調査時期、調査方法等について地元漁協・県水産振興センターの協力を得て調査を実施するなど、現場周辺の環境・生態系に配慮した
- ・また、護床ブロックの施工にあたっては、既設魚道取合い部について自然との調和を図るため現場あわせでブロックを切断・据付するなど、河床洗掘防止と併せ景観にも配慮した
- ・更に、現場周辺のクリーンアップや地元行事への積極的な参加など、地域に密着した取り組みも見られた

### ◆施工業者からのPR

- ・現場は河川内のため、春の雪解けによる増水等が懸念される中での施工であり、苦労した点もありましたが、各種課題に真摯に対応した結果、無事完工することができました
- ・具体的には、鮭の産卵が確認されたことにより、漁協など関係機関と協力した孵卵調査を実施したことや、既設護床ブロックとの複雑な接合面に合わせるため、新設ブロックを切断加工するなど、周辺の景観・生態系に配慮しながら、良好な水辺空間に仕上げることができました
- ・また、用排水路の清掃やクリーンアップ、地域の祭りである「万灯火」にボランティアとして参加し、地域住民と積極的に交流することで、企業の姿勢や事業内容への理解も得ることができました

### 3 第32回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工事名	地方道路交付金事業（脇神地区）F190-10工事		
施工地名	北秋田市脇神		
商号又は名称	秋田土建株式会社	許可番号	05-000450
請負額	33,224,100円	工種・格付	ほ装 A級
代表者	代表取締役 北林 一成		
監理技術者等	現場代理人 園部 信悦		
発注公所	北秋田地域振興局（建設部）		
主任監督員	高橋 忠信	監督員	出雲 智也
工期	平成22年7月2日～ 平成22年9月17日	完成年月日	平成22年9月17日
概要	1)道路土工 N=1式 2)舗装工 A=2,110㎡ 3)排水構造物工 N=1式 4)縁石工 L=367m 5)区画線工 N=1式 6)道路植栽工 A=640㎡ 7)道路付属施設工 N=1式		
特徴	1)「道の駅大館能代空港」の認定に向け、敷地内駐車場の設置工事		
写 真			
  			
完成写真		車道舗装工	
イメージアップ看板			

◆発注公所の表彰理由
<ul style="list-style-type: none"> <li>・道の駅のオープンイベントの開催に合わせ、より早く工事を終了する必要があると、適切な工程管理が求められる中で、電線や水道など多数の地下埋設物への対処が必要となるなど、難しい現場条件も発生したが、それら課題に迅速に対応し、工事を安全かつ円滑に完成させた</li> <li>・また、工事の影響により空港利用者が不快に感じないように、周辺環境に花壇を設置したり、空港駐車場にあるトイレを清掃するなど、現場内にかかわらずイメージアップに特に配慮した点は評価できる</li> </ul>

◆施工業者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> <li>・工事期間中は、監督職員・関係各位との意思疎通を十分に図る事ができ、工事も順調に進み無事工事を完成することが出来ました</li> <li>・道の駅『大館能代空港』は全国で2番目の空港機能を併せ持った道の駅であり、その工事に完成するまで関わることが出来たことは、生涯の思い出になります</li> <li>・今後もこの受賞を励みに、更なる技術力・品質・安全への向上と周辺環境への配慮、地域社会貢献により一層努力をして参ります</li> </ul>

## 4 第32回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工事名	国道道路改築事業（葛原バイパス）HA23-30工事		
施工地名	大館市葛原		
商号又は名称	花岡土建株式会社	許可番号	05-002129
請負額	70,397,250円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役 鈴木 泚士		
監理技術者等	現場代理人 工藤 正伸		
発注公所	北秋田地域振興局（建設部）		
主任監督員	庄司 直樹	監督員	寺田 龍
工期	平成22年3月31日～ 平成22年11月15日	完成年月日	平成22年10月15日
概要	1) 道路改良 L=317.6m W=6.5(12.0)m、路体盛土工 V=25,700m <sup>3</sup> コンクリートブロック工 A=34m <sup>2</sup> 、側溝工 L=1,300m、集水柵工 N=18箇所		
特徴	1) 路体盛土(他工区流用土)の品質確保が最も重要な工事 2) 集落内を工事車両が通行する際の安全管理を徹底する必要がある		
写 真			
  			
完成写真（全景）		混合用バケット使用状況	
			待避所の設置

### ◆発注公所の表彰理由

- ・本工事は、一般国道103号葛原バイパスを新設する道路工事で、仮設ヤードに仮置きされた流用土を運搬・盛土して道路の路体を構築した工事である
- ・工事の品質をより向上するため、工事を円滑に遂行するよう様々な工夫により施工した
- ・また、盛土材の運搬に当たっては、運搬路の周辺住民との間にトラブル等が生じないよう、様々な対策を良く行った

### ◆施工業者からのPR

- ・本工事は、仮置きされた他工区流用土を使用する路体盛土工事でありましたが、通常施工が困難な土砂を如何に品質を確保しながら盛土に使用することが課題でありました
- ・工程・品質・経済性の各面からの検討結果、良好な土砂との混合で盛土に使用することを採用し、施工時に混合用バケットを活用することで混合ムラを防ぎ、路体盛土の品質を確保しながら完工出来ました
- ・今後も本受賞を励みにさらなる品質の向上と、地域貢献など精進して参りたいと思います

## 5 第32回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	北秋田地区統合高校（仮称）体育館棟 建築工事		
施工地名	北秋田市伊勢町		
商号又は名称	佐藤庫・イトウ・大成・平和特定建設工事共同企業体		
請 負 額	888,930,000 円	工種・格付	建築一式 A級
代 表 者	株式会社佐藤庫組 代表取締役 佐藤 昌郁		
許可番号	05-006597	監理技術者等	現場代理人 中嶋 清巳
(許可番号・構成員)	①05-020143 株式会社伊藤羽州建設 代表取締役 石山 清武		
	②05-002465 株式会社大成工務店 代表取締役 近藤 専悦		
	③05-001945 平和建設株式会社 代表取締役 菊地 建一		
(監理技術者等)	①主任技術者 日景 義点、②主任技術者 奈良 正義、 ③主任技術者 米沢 淳也		
発注公所	北秋田地域振興局（建設部）		
主任監督員	伊藤 和博	監督員	小笠原 勝則
工 期	平成21年2月27日～ 平成22年12月20日	完成年月日	平成22年11月30日
概 要	1) 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造3階建て（延べ面積4,486㎡） 2) 北秋田市内にある4高等学校の統合校として、旧鷹巣農林高等学校敷地に平成23年4月の開校を目指し施工		
特 徴	1) 鉄筋コンクリート造の柱、壁と鉄骨小屋組の大規模混構造、格技場部分はPC工法を使用した大空間を持つ建築物である		
写 真			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>完成写真(体育館全景)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>内観(第一アリーナ)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>PC鋼材緊張工事中</p> </div> </div>			

### ◆発注公所の表彰理由

- ・ 体育館棟は鉄筋コンクリート造と鉄骨小屋組、PC梁を組み合わせた複合構造の建築物
- ・ 工場での材料確認や現地での確認を強化する一方、毎朝、職人のミーティングを行い、品質確保や施工精度の向上に努め、完成建築物は優れた出来栄となった
- ・ また、周辺道路の清掃や安全対策にも取り組んだ

### ◆施工業者からのPR

- ・ アリーナ鉄骨部分の建て方に際して、先行ステージ足場を全面に組み、安全対策に努め、仕上げ足場にも併用出来る様にし、工期短縮にも繋がるよう計画、実施しました
- ・ また、冬季コンクリート打設後の養生温度(5日間)を5℃以上に保つ様にジェットファーンエス等使用すると共に、自記温度計で計測し、その品質確保に努めました
- ・ さらに、県産木材の使用を最優先にし、特に、アリーナ壁材の仕上げに際しては、その色の配列、節の有無等のバランスに特に配慮しました

## 6 第32回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

### ◆工事概要

工 事 名	フォレストコミュニティ総合整備事業 (米代線奥小比内1工区) 第RC1202A705号工事		
施工地名	藤里町藤琴		
商号又は名称	北部建設株式会社	許可番号	05-000726
請 負 額	89,351,850 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役社長 北林 孝		
監理技術者等	現場代理人 長岡 岩夫		
発注公所	山本地域振興局 (農林部)		
主任監督員	加賀 正博	監 督 員	小野 圭
工 期	平成21年8月6日～ 平成22年8月31日	完成年月日	平成22年8月30日
概 要	1) 林道開設 W=7.0m L=948.09m ※下層路盤工まで 2) 切土 19,899m <sup>3</sup> 運搬捨土 9,859m <sup>3</sup> 盛土 10,040m <sup>3</sup> その他付帯構造物		
特 徴	1) 同一路線上に複数の同時進行工区がある 2) 資機材や人員輸送など、他工区との調整が重要な箇所		
写 真			
			
完成写真(下層路盤)		完成写真(小河川付替)	
		人力による玉石設置状況	

### ◆発注公所の表彰理由

- ・ 当該工事は林道開設延長が長く、同一路線上に同時進行の他工区があったため、資材や機材、また現場で作業に当たる人員の輸送など調整項目が多岐にわたったが、迂回路を活用するなど積極的に総合調整を行った
- ・ また、小河川の付け替えでは現地発生の玉石を河床等に活用するなど、環境配慮とコスト削減の両面から提案を行い、景観的にも優れている
- ・ 完成した路盤並びに付帯構造物の仕上がり、見栄え、管理とも優秀である

### ◆施工業者からのPR

- ・ 環境対策…工事関係河川は、鮎釣り漁が解禁期間中のため、水替え水中ポンプ排水について、分離槽で沈澱を行い、水質汚濁防止対策を行って、漁への悪影響を及ぼさなかった
- ・ 第三者対策…運搬道路が砂利道で狭いため、一般車及び運材車との交差対策として待機箇所毎に番号札掲示を行い、待機所の確保と鉄板の敷設を行った
- ・ 緊急時連絡対策…工事現場の進入路及び現場内において、緊急時の連絡対策として携帯電話の通信可能箇所を調査し、可能箇所に目印となる看板を設置した

## 7 第32回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工事名	岩館漁港 地域水産物供給基盤整備事業 第01201号工事		
施工地名	八峰町八森		
商号又は名称	大森建設株式会社	許可番号	05-010635
請負額	94,670,100円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役 大森 三四郎		
監理技術者等	現場代理人 舘岡 勇人		
発注公所	山本地域振興局（農林部）		
主任監督員	伊勢谷 仁	監督員	川村 慎吾
工期	平成22年7月1日～ 平成22年11月30日	完成年月日	平成22年11月30日
概要	1) -3.5m岸壁 L=85m 2) 防波堤ブロック製作 N=1式		
特徴	1) 漁業生産活動への影響に配慮した工事の施工 2) 品質の向上と長寿命化が期待されるL型ブロック製作		
写 真			
			
完成写真(全景)		L型ブロック 1回打設	
		港内汚染防止のための汚濁防止フェンス	

### ◆発注公所の表彰理由

- ・ 漁業生産活動(アワビ・カキ漁など)期間には、工事施工による水質汚濁が発生しないよう漁業関係者と綿密な連絡調整を図るとともに、防止対策には万全を期した
- ・ また、既設灯台の移設に当たっては、灯台点灯業務を休止できないことから、確実に履行するため、事前に作業従事者全員でシュミレーションを実施し、無事完成させた
- ・ L型ブロック製作において、コンクリート打設回数を1回で実施し、その結果構造物の弱点となる打ち継ぎを作らないことにより、品質の向上と長寿命化につながるものと期待される

### ◆施工業者からのPR

- ・ 本工事の施工にあたっては、「ヒラメ養殖場の放流による漁港内制限」、「鮭漁による航路制限」、「季節ハタハタ漁による漁港内制限」等の工程的な制約が生じたが、発注者・漁業関係者等との打合せを頻繁に行って情報の共有を図り、工程調整を行い施工を行った
- ・ 長期的な品質確保を行う目的として、水中構造物築造後の沈下に対する検討を行い、基礎捨石の基準高さの上げ越しを行なって施工した
- ・ 気象予報会社と契約を行い、現場の波浪関連情報をリアルタイムに把握して施工管理に反映することで、良好な品質の構造物を無事故で完成することができた

## 8 第32回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工事名	県単河川改良事業（天内川）21-K213-10工事		
施工地名	能代市天内		
商号又は名称	有限会社千秋資材	許可番号	05-009522
請負額	6,796,650円	工種・格付	法面 A級
代表者	代表取締役 大齒 淳子		
監理技術者等	現場代理人 大齒 省三		
発注公所	山本地域振興局（建設部）		
主任監督員	藤谷 学	監督員	柴田 大輔
工期	平成22年9月17日～ 平成22年12月22日	完成年月日	平成22年12月20日
概要	1) 補強コンクリート工（もたれ式擁壁）46m <sup>3</sup> 2) エアーモルタル工 7m <sup>3</sup>		
特徴	1) 一般民家が著しく近接している現場条件		
写 真			
			
完 成		直近の民家への崩壊の拡大を防御しながらの施工	

### ◆発注公所の表彰理由

- ・当工事は、施工箇所に隣接し一般民家が立地しており、施工時には、作業による振動などによる建物被害を発生させないよう細心の配慮が要求された
- ・このような現場条件の下、技術者の配置、現場の施工体制、管理体制が適切であったため、隣接住家への影響・被害を生じることなく工事を完成させている

### ◆施工業者からのPR

- ・当現場は、施工箇所の隣接地に住家がある非常に厳しい現場条件のため、施工計画の立案にあたっては、住家等への影響が最小化となる施工方法や施工機械の選定に留意しました
- ・また、日々の施工においても、住家への影響を常に配慮しながら現場管理に努め、無事故で工期内に完成させることができました
- ・これも地域住民など関係者の御理解と御協力によるものと感謝しており、今後も更なる品質管理・技術向上をはかり、環境へ配慮しながら地域貢献に努力してまいります

## 9 第32回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工事名	地方道路交付金事業（国道101号）22-HF13-10工事		
施工地名	能代市須田		
商号又は名称	成田建設株式会社	許可番号	05-001942
請負額	42,595,350円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役 成田 保		
監理技術者等	現場代理人 児玉 政人		
発注公所	山本地域振興局（建設部）		
主任監督員	藤谷 学	監督員	天野 啓秀
工期	平成22年9月24日～ 平成23年3月18日	完成年月日	平成23年3月18日
概要	施工延長 180.4m 1) 路体盛土 250m <sup>3</sup> 、路床盛土 1,600m <sup>3</sup> 2) 軟弱地盤処理（浅層混合処理）3,950m <sup>3</sup>		
特徴	1) 確実な改良効果を要求される軟弱地盤処理 2) 交通量の多い現道すりつけ部を含む、限られた作業スペース		
写 真			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>完成（バイパス起点部から撮影）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>軟弱地盤処理</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>コアボーリングに改良強度確認</p> </div> </div>			

### ◆発注公所の表彰理由

- ・当工事は、バイパス道路の改築事業として、軟弱地盤処理と路体盛土工事を実施した
- ・軟弱地盤処理工では、当工区はバイパスの起点部に位置し、交通量の多い現道とのすりつけ箇所となっているため、作業上制約があったが、ウェットサンプリングに加え、コアボーリングを実施し、複数の方法で改良強度を確認するなど、品質の確保・向上に努めている
- ・また、地域住民の工事に対する理解を深める事を目的として、現場見学会を企画するなどの取り組みも実施している

### ◆施工業者からのPR

- ・施工は、本土工及び軟弱地盤処理工法に関するPR看板の設置、隣接する国道、圃場への環境対策に配慮しながら行い、無事に無事故・無災害で完成させることが出来ました
- ・監督職員はじめ関係各位の皆様のご指導ご協力に心より感謝とお礼を申し上げますと併に、今後も、この受賞を励みにさらなる技術の研鑽を重ね、安全と品質の向上に努め地域社会に貢献して参りたいと思います

# 10 第32回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

## ◆工事概要

工事名	男鹿浦田地区 農地集積加速化基盤整備事業 第22601号工事		
施工地名	男鹿市脇本浦田		
商号又は名称	有限会社グリーンサポート男鹿	許可番号	05-040551
請負額	9,499,350 円	工種・格付	一般土木 C級
代表者	代表取締役 松橋 正治		
監理技術者等	現場代理人 金 吉美		
発注公所	秋田地域振興局（農林部）		
主任監督員	桜庭 正栄	監督員	渡辺 亮
工期	平成22年10月25日～ 平成23年 3月25日	完成年月日	平成23年3月25日
概要	1) 区画整理補完工 N = 138箇所		
特徴	1) 小規模な土工箇所が多数あり、施工計画に工夫を要する		

## 写 真



軟弱地盤の地耐力調査



小型機械による施工 (BH0.2m<sup>3</sup>)



完成写真(ほ場全景)

## ◆発注公所の表彰理由

- ・ 広域な工事範囲であるため、多数の受益者と発注者を交えた地元の会合が必要とされたが、およそ月1回のペースで開催した
- ・ 受益者個々と連絡を取って現地立ち会いを頻繁に実施するなど、細やかに意見を取り入れて施工計画に反映させ、出来形及び品質とも良好である
- ・ また、溝畔を高めにし草刈りをしやすくしたり、圃場へのダメージを抑えるために積雪時に一回り小さな重機を使用するなど、受益者第一を考える姿勢は他の模範となると考える

## ◆施工業者からのPR

- ・ 広範囲の冬期間(雪中)作業のため、徹底した手戻り作業の防止に努め、特に次の事項に配慮しました
  1. 関係機関と随時、綿密な工程打合せを行い、計画表に従って作業を進め、作業中又は部分完成時には受益者の確認も得て重機等を移動した
  2. 置換え土及び盛土材は土質の異なる物を数種類準備し、受益者が納得した物で施工した
  3. 作業員は熟練工を配置し、作業内容の周知徹底を図り、無事故で工期内に完工した

# 1 1 第 3 2 回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

## ◆工事概要

工 事 名	銅屋地区 経営体育成基盤整備事業 第 2 1 7 0 1 号工事		
施工地名	秋田市雄和相川		
商号又は名称	秋田舗道株式会社	許可番号	05-001796
請 負 額	43,770,300 円	工種・格付	舗装 A 級
代 表 者	代表取締役社長 本郷 真		
監理技術者等	現場代理人 佐々木 孝一		
発注公所	秋田地域振興局（農林部）		
主任監督員	舘岡 剛正	監 督 員	大石 博樹
工 期	平成22年7月2日～ 平成22年11月15日	完成年月日	平成22年11月15日
概 要	1) 幹線道路工 L = 2,662.7m		
特 徴	1) 路肩盛土（延長 L=5,189m）の施工方法 2) アスファルト混合物の品質管理		

### 写 真



サイドフィードローダによる路肩盛土の施工状況



A s 混合物の温度管理

## ◆発注公所の表彰理由

- ・施工性や出来映えの良さを考慮し、路肩盛土の施工機械にサイドフィードローダを採用すると共に、アスファルト再生骨材を盛土材料に用いることで締め固め密度を向上させ、雑草発生の抑制を図り、維持管理コストの低減に努めた
- ・また、安全管理はもとより、残土処理や使用する除草剤などについて随時受益者との打合せを行い、きめ細かな施工が伺える
- ・特に、路肩盛土の施工に先立つ草刈り作業に、受益者自ら協力するなど良好な対外関係が築かれていた

## ◆施工業者からのPR

- ・本工事は、施工延長2,662.7mの基盤整備幹線道路を高品質を保ちながら施工するために、製造・施工体制を作成し、アスファルト混合物の製造段階からの品質管理を実施しました
- ・また、土地改良区、受益者の方々、工事関係者とのコミュニケーションを大切にし、円滑に工程を遂行できた
- ・今後は、この受賞を励みに更なる安全の徹底と品質の向上、環境への配慮、地域への貢献に努力してまいります

# 1 2 第 3 2 回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

## ◆工事概要

工 事 名	道路災害復旧事業（軽井沢工区）0002-20工事		
施工地名	由利本荘市矢島町		
商号又は名称	山科建設株式会社	許可番号	05-000622
請 負 額	94,191,300 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A 級
代 表 者	代表取締役 小川 邦則		
監理技術者等	現場代理人 佐藤 保喜		
発注公所	由利地域振興局（建設部）		
主任監督員	齊藤 誠	監 督 員	加藤 勝広
工 期	平成22年6月14日～ 平成22年12月20日	完成年月日	平成22年12月20日
概 要	1) 復旧延長 L=78.5m、掘削工 V=9,540m <sup>3</sup> 、盛土工 V=29,570m <sup>3</sup> 2) 集水井工(H=5.4m) N=1基、舗装工 A=736m <sup>2</sup>		
特 徴	1) 地元中学生を対象とした現場職業体験学習を開催する等の積極的な地域貢献 2) 現場に医師を招聘し健康教育等の優れた安全衛生の取り組み		
写 真			
			
完成状況		盛土締め状況	
			
中学生の測量現場 体験学習の様子			

## ◆発注公所の表彰理由

- ・ 地元中学生を対象とした現場職業体験学習の開催や、地元集落での清掃活動など、積極的かつ優れた地域貢献活動が見られた
- ・ また、定期的に現場詰所で実施された、医師を招聘し健康教育や健康診断、夏場の熱中症対策のため、現場詰所に配置した熱中飴やウォーターサーバー等、きめ細かい安全衛生対策は、他の工事の模範となる
- ・ 当該工事の主たる工種である盛土工の密度試験について、品質管理基準を約25%上回る箇所数を測定し、85%以上の締め基準に対して、全ての箇所で90%以上(平均91.7%)となっており、優れた施工管理と施工であった
- ・ また、法面植生工については、国土交通省のNETIS(新技術データベース)に登録されている「ガンリョクマット」を積極的に採用する等、現場施工の目的を的確に把握し、状況判断など優れた技術的力を有する

## ◆施工業者からのPR

- ・ 本工事は道路幅員の3分2が、150m下側の市道まで崩落する地すべり災害であり、資材搬路は、狭隘区間が多く、かつ迂回路線となる下側の市道を共用しながらの危険を伴う作業であったため、現場従事者に「安全作業」の励行を徹底しました
- ・ 待避所の指定、高所での運搬車両停止には、誘導員の他にゴムマットセンサー付回転灯で運転者に注意を促し、また現場は携帯電話が難聴地区の為、無線機による緊急連絡体制をとったこと等により、無事故、無災害で完成する事が出来ました
- ・ 今後とも安全管理の徹底は元より、技術の向上、地域への貢献を心掛けていきます

# 13 第32回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

## ◆工事概要

工事名	県単河川改良事業（清水川）K298-60工事		
施工地名	にかほ市象潟町		
商号又は名称	コマツ建設株式会社	許可番号	05-000006
請負額	60,879,000円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役 小松 功		
監理技術者等	現場代理人 齊藤 正美		
発注公所	由利地域振興局（建設部）		
主任監督員	齊藤 誠	監督員	加藤 勝広
工期	平成22年3月29日～ 平成23年1月19日	完成年月日	平成23年1月11日
概要	1) 護岸工（緑化ブロック） A=642m <sup>2</sup> 2) 橋梁(1橋) L=16.06m 上下部工（PC単純床版・逆T式橋台）		
特徴	1) 地元小学生を招いた現場見学会を開催する等の積極的な地域貢献 2) 擦付コンクリート部に玉石を配置するなど、積極的な創意工夫への取り組み		

### 写 真



完成状況



優れた曲線部の施工



地元小学生を招いた現場見学

## ◆発注公所の表彰理由

- ・鳥海山の麓に位置する清水川は、横岡・本郷集落を縦断し、日本海に流れる地域に密着した河川であるため、施工業者は地域との協調性を重視し、地元上郷小学校の生徒を招いた現場見学会や地元町内会との定期的な会合を実施した他、現場にランターを配置する等、積極的に地域とのコミュニケーションを図った結果、苦情は一切発生しないまま、工事完成に至った
- ・積ブロックの施工においては、既設ブロックとの擦りつけや全体的な美観（特に曲線部の施工がよい）が優れており、技術力の高さがうかがえる
- ・また、道路と橋梁の境には良質な埋め戻し材を使用、橋梁地覆コンクリートにはひび割れ防止剤添加、既設護岸の擦付けを工夫し景観に配慮する等、随所に、きめ細かい配慮を実施したことは、優れた技術力を有すると評価できる

## ◆施工業者からのPR

- ・当該工事の施工に際し、ご指導・ご協力を頂いた関係各位の皆様にご心より感謝申し上げます
- ・地元の上郷小学校6年生の皆様には、授業の一環として現場見学会に参加して頂き、施工に関した質問のみならず、公共施設の建設が児童保護者の納税が寄与している事など、公共工事に興味を持って頂き、社会資本整備に携わるものとして、大変ありがたく思いました
- ・今後も更なる研鑽を積み、防災に強い、安心・安全なまちづくりに貢献出来るよう、技術の向上に努めて参ります

# 1 4 第 3 2 回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

## ◆工事概要

工 事 名	鶯野地区 農地集積加速化基盤整備事業 第 0 7 4 1 1 号工事		
施工地名	大仙市下鶯野		
商号又は名称	有限会社藤澤技建	許可番号	05-012373
請 負 額	41,016,150 円	工種・格付	一般土木 B級
代 表 者	代表取締役 藤澤 昇		
監理技術者等	現場代理人 小山 善明		
発注公所	仙北地域振興局（農林部）		
主任監督員	中田 直樹	監 督 員	佐藤 太
工 期	平成22年9月30日～ 平成23年2月28日	完成年月日	平成23年2月28日
概 要	1) 用水路工 L=2,682m 2) 排水路工 L=37m		
特 徴	1) シール材による伸縮目地を約30m間隔に設置し、膨張によるひび割れ防止を図った 2) コンクリート二次製品は、秋田県リサイクル認定製品（溶融スラグ入り）を使用		
写 真			
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>完成写真(全景)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>伸縮目地の施工状況</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>秋田県認定リサイクル製品</p> </div> </div>			

## ◆発注公所の表彰理由

- ・本工事においては、地域の理解をいただくための周知と安全対策を兼ねて、作業内容を一般向けにもわかりやすい明示とした自社作成看板を設置し、地域に密着した工事に努めた
- ・また一部施工区間は見張員の配置を要しない範囲ではあるものの、鉄道(JR)に近接していることから列車見張り員を配備し、作業環境の向上並びに事故防止にも努めた
- ・なお、用水路の施工に於いては、ほ場の短辺方向に約30mに1箇所割合でシール材による伸縮目地を設置し、膨張・収縮に伴うクラックの発生防止を図ることで、コンクリート製品の長寿命化にも寄与している

## ◆施工業者からのPR

- 品質向上について…フリーム類を切断して施工する場合、切断面に錆び止材を塗布することにより鉄筋露出部分からの腐食を防ぎ、品質向上に努めた
- 環境対策について…安全巡視委員によるチェックや車両等にアイドリングストップ運動のステッカーを明示するなど、アイドリングストップ運動を実施
- 地域貢献について…地域住民への工事通知や交通規制のチラシ配布、現場周辺のカーブミラーの清掃、現場周辺の交差点・T字路の視認性確保や一人暮らしの民家の除雪ボランティアや地元小学校の屋根の雪下ろし、マラソン大会の交通誘導などを実施

# 15 第32回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

## ◆工事概要

工事名	神岡西部地区 農地集積加速化基盤整備事業 第26303号工事		
施工地名	大仙市北檜岡		
商号又は名称	株式会社宮原組	許可番号	05-010808
請負額	94,833,900円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役 宮原 竜也		
監理技術者等	監理技術者 風間 祥壮		
発注公所	仙北地域振興局（農林部）		
主任監督員	白山 敦	監督員	佐藤 雅人
工期	平成21年5月29日～ 平成22年5月31日	完成年月日	平成22年5月10日
概要	1) 区画整理工 A = 19.3ha		
特徴	1) 転作物等の作付けにより工期の制約を受けることから、工程管理に特段の配慮が求められ、施工の運営進捗・地元調整等に特段の配慮を要した		
写 真			
			
完 成	排水FLの側壁への工夫	インターンシップ体験学習	

## ◆発注公所の表彰理由

- ・本工事は、気象・地盤条件で施工環境が厳しい状況であったが、地表面水排除等の創意工夫を自発的に行い、懸念されていた地元受益者への営農活動に支障を来すことなく、工期前に完成させている
- ・また、他工区を跨ぐ土量移動や仮設工の工程調整が煩雑であり、業者間の連携が重要な事業であったが、設立した安全協議会においてはリーダーシップを発揮し、各工区の進捗を円滑な進捗に努めていた
- ・さらには、近隣市道の安全管理、地元中学生のインターンシップ受入といった、地域と連携した活動にも貢献している
- ・工事本体においても、既存ストックの再利用として、排水フリームの排水孔の清掃や側壁への吸出防止材取付など機能回復と向上に努めている

## ◆施工業者からのPR

- ・畦・溝畔の施工にレーザーレベルを使用し、人的ミスを未然に防ぎ品質の向上に努めた
- ・田面排水設置箇所に仮排水を施工したが、法面が浸食し排水に泥土が流出する恐れがあったため、法面をブルーシートで保護し、流末には沈砂池を設け工区下流への泥土流出防止に努めた
- ・布設替え水路の撤去時、切梁を設置し製品の損傷を防いだ
- ・旧水路において素堀側溝に沈殿した泥土などを入念に取り除き、良質土で埋め戻すことで完成後の軟弱化・不等沈下を防止した
- ・排水路の清掃機械を作製し、作業の効率化を図るとともに完成時の景観を良好にした
- ・現場近隣のクリーンアップのほか、地元の要望で地区外水路の設置・旧防雪柵の撤去を行った

## 16 第32回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

### ◆工事概要

工事名	強首2期地区 農地集積加速化基盤整備事業 第28201号工事		
施工地名	大仙市強首		
商号又は名称	株式会社最上田組	許可番号	05-006460
請負額	98,993,100円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役 最上田 政司		
監理技術者等	現場代理人 佐々木 学		
発注公所	仙北地域振興局（農林部）		
主任監督員	須藤 邦彦	監督員	水沢 茂樹
工期	平成21年5月29日～ 平成22年5月31日	完成年月日	平成22年5月20日
概要	1) 整地工 A=14.3ha 用水路工 L=1,193m 2) 排水路工 L=1,593m 道路工 L=1,300m		
特徴	1) 排水対策への取り組み 2) フリュームの目地破損防止を考慮した伸縮目地施工		
写 真			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>完成検査(全景)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>仮設排水路施工状況</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>二次運土施工状況</p> </div> </div>			

### ◆発注公所の表彰理由

- ・本工事は、他の3工区からの排水が集中する排水流末部に位置し、ビニールシートを敷設した独自の仮排水路を設置するなど、整地工事へ影響が無いように工夫を施している
- ・また、現況地盤の凹凸を解消するための二次運搬土で、ほ場内に仮設敷鉄板を設置し、不整地運搬車とダンプトラック併用での運搬を行い、工期短縮に努めている
- ・さらには、コンクリート製品の長寿命化対策として、概ね20mごとに1ヶ所のシール材による伸縮目地を設置するなどの工夫も行っている
- ・また、関係機関や他工区業者、地元受益者との連絡調整を密に行い、円滑な工事の進捗を図るとともに、地域住民への広報活動も積極的に行った

### ◆施工業者からのPR

- ・当工事の一部は軟弱地盤が想定されており、施工前調査にて現況田の表土厚さ・田面標高及び地耐力を測定し、基盤整地完了まで心土を損失しないよう現況田毎チェックし施工
- ・既設水路と仮排水路の利用により、下流域地区外農地への用水供給を満たして早期着手を実現した他、不整地運搬車とダンプトラック併用により二次運土の運搬作業を短縮
- ・用水路の目地施工は、20m毎に1ヶ所の割合でシール材による伸縮目地を施し長寿命化に配慮すると共に、ベンチフリューム型進入路の底部にはモルタルを敷き沈下防止に努めた
- ・地元農家の希望者に当現場の雇用を促進し、軽作業に従事してもらいながら地域住民とコミュニケーションを図る手伝いをしていただき、円滑に工事を進めた

# 17 第32回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工事名	通常砂防事業（小杉崎沢川）LA62-10工事		
施工地名	美郷町浪花		
商号又は名称	株式会社沢野建設	許可番号	05-004045
請負額	106,320,900円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役 澤野 ノリ子		
監理技術者等	監理技術者 高橋 謙治		
発注公所	仙北地域振興局（建設部）		
主任監督員	菅原 俊幸	監督員	高野 健一
工期	平成21年8月10日～ 平成22年7月30日	完成年月日	平成22年5月31日
概要	1) 単独床固工 N=1基（流木捕捉工 Δ型、H=2m(6連構造)含む） 2) 護岸工（積ブロック） A=244m <sup>2</sup>		
特徴	1) 湧水及び増水を克服しての、コンクリート構造物・鋼製捕捉工の施工 2) 通年施工における生活路・耕作路の地元調整並びに降積雪の克服		
写 真			
			
完成状況	水中ポンプ+転流工（切回し水路）による異常出水の克服	工事除雪を見越した田地のシート保護により路肩損壊・砂利飛散を防止	

## ◆発注公所の表彰理由

- ・ 本工事は支持地盤が悪く、本体施工に先立ち地盤改良を実施した際に、掘削基面での湧水が当初の想定よりも遙かに多かったが、ポンプ増設や濁水処理を含めた転流工の切回しといった、異常出水を想定した仮設措置を立案・実施し、施工管理向上に努めた
- ・ また、搬入路においては、下流集落の生活道路や耕作道路を通らねばならないほか、積雪の多い地区にて除雪を伴いながらの施工といった、地元調整や気象要因の厳しい条件下で、円滑な工事進捗を確保し、土石流発生の恐れが最も高いとされる梅雨前に完成することができた
- ・ これらに加え、出来形・品質・安全管理・副産物処理も高い精度を維持している

## ◆施工業者からのPR

- ・ 近い場所への残土処理地の確保：当初予定をしていた“町指定の残土処理地”が、残土を受入れなくなりりましたが、地域の皆さんや地権者の協力のおかげで、現場と隣接する土地に処理することができ、処理後は、その土地の田面整地や法面仕上げをして、土地の有効利用に心掛けました
- ・ 残存型枠に均しコンクリートを施工：1ロット目の型枠の平坦性を確保するためと、法勾配がある型枠がコンクリート打設時に浮かないようにアンカー筋を刺すために、均しコンクリートを打設しました
- ・ カーブミラー清掃：当該地域のカーブミラーを清掃しました

# 18 第32回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

## ◆工事概要

工事名	地方道路交付金事業（改築）HF32-10工事		
施工地名	横手市平鹿町		
商号又は名称	ミノル工業株式会社	許可番号	05-080725
請負額	58,270,800円	工種・格付	ほ装 A級
代表者	代表取締役 神谷 俊彦		
監理技術者等	現場代理人 若松 泰明		
発注公所	平鹿地域振興局（建設部）		
主任監督員	佐藤 朋章	監督員	若松 伸吾
工期	平成22年8月20日～ 平成22年11月30日	完成年月日	平成22年11月22日
概要	1) 道路舗装工 L=840m W=6.0m(10.5～13.5m) 2) 車道舗装工 A=7,450㎡ 3) 歩道舗装工 A=1,770㎡		
特徴	1) 施工方法及び機械、使用材料の工夫による工程短縮と品質確保 2) 現場掲示板への地域PR看板設置による地域貢献		

### 写 真



植物油ベースの付着防止剤の使用による



工程短縮及び品質確保のための  
ホットジョイント施工（舗設機械2台併走）



舗設機械への各種自動制御装置の  
追加設置による施工精度及び品質の確

## ◆発注公所の表彰理由

- ・本工事は、一般県道野崎十文字線林崎バイパスの舗装工事である
- ・舗設機械2台併走によるホットジョイント施工や、舗設機械への各種自動制御装置の追加設置等により、工期の短縮及び品質確保に対する創意工夫がみられる
- ・また、転圧機械、ダンプトラック等のアスファルト合材の付着防止剤として植物油を使用し、環境への影響を軽減するとともに、一般的に使用している軽油等を変更することにより、カットバックの恐れを抑止し舗装の品質向上に努めた

## ◆施工業者からのPR

- 本工事は、林崎バイパスの早期開通のための工期短縮、アスファルト舗装工での品質向上を目標として取り組みました
- ・工程短縮…ホットジョイント施工など各工種において、工程短縮の計画・検討を行い、日施工量の増加を図り工程短縮に努めた
  - ・品質向上対策…植物油ベースの付着防止剤を使用することにより、舗装表面のカットバック発生を抑制し、舗装面の長寿命化を図ると共に、センサーロープの設置と各種自動制御装置を使用することにより、平坦性や施工精度の向上に努めた

◆工事概要			
工事名	地すべり防止事業（狼沢地区）第RH1113A312号工事		
施工地名	東成瀬村椿川		
商号又は名称	奥山ボーリング株式会社	許可番号	00-009301
請負額	29,946,000円	工種・格付	さく井 A級
代表者	代表取締役 奥山 和彦		
監理技術者等	現場代理人 久米 健一		
発注公所	雄勝地域振興局（農林部）		
主任監督員	高橋 信義	監督員	若松 孝行
工期	平成21年10月30日～ 平成22年10月22日	完成年月日	平成22年10月22日
概要	1) 集水井工1基 (H=17.0m) 2) 集水ボーリング工13孔、排水ボーリング工1孔		
特徴	1) 地山崩壊を防ぐ施工及び工程管理の創意工夫 2) 排水管の閉塞防止への配慮と工夫		
写 真			
			
完成写真	モルタル充填状況	中間蓋の設置を提案	

◆発注公所の表彰理由
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 集水井施工時に、ライナープレートと地山との空隙にモルタルを充填し、作業の安全性を確保した</li> <li>・ また、すべり面移動による落下土砂から排水管を守るため、中間蓋の設置を提案するなど、将来の維持管理を見据えた施工に努めた</li> <li>・ さらに、林道の草刈りや熊出没注意などの看板設置を行い、工事車両の通行の安全や山菜採りなど入山者の安全確保に努めている</li> </ul>

◆施工業者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当現場は、標高700m程に位置し、林道狼沢線を利用して資機材を搬入するが、縦断勾配がきつくと、狭隘でカーブも多い</li> <li>・ 冬期間は積雪が6m程と多く、雪解けも5月中旬頃のため、雪崩等の危険性を確認し、4月下旬より林道の除雪を行い早期着工を図った</li> <li>・ また、基準点等の設置はGPS測量を行うことで、伐採等の必要がなく作業日数を短縮することが出来た</li> <li>・ 準備段階での工夫や集水井施工時の地山対策等の効果的な施工、安全管理により工事期間の短縮ができ、無事完成となった</li> </ul>

◆工事概要			
工事名	通常砂防事業（谷地沢）LA83-10工事		
施工地名	東成瀬村椿川		
商号又は名称	大橋建設株式会社	許可番号	05-010939
請負額	112,946,400円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役 古谷 秀克		
監理技術者等	現場代理人 遠藤 淳		
発注公所	雄勝地域振興局（建設部）		
総括監督員	加賀 羊一	監督員	佐藤 司
工期	平成21年7月31日～ 平成23年1月31日	完成年月日	平成22年12月22日
概要	1) 2号堰堤工 N=1基 (H=7.5m、L=57.73m)		
特徴	1) DW(ダブルウォール)堰堤の中詰め土施工における品質向上のための工夫 2) 現地の土質変化への対応（崩壊を防止する鋼矢板施工等）		
写 真			
			
完成写真		中詰め土の施工状況	
		締固試験による品質向上	

◆発注公所の表彰理由

- ・本工事は、当管内では初めて採用されたDW堰堤工の施工である
- ・堰堤の構造において重要な中詰め土の施工は、スケルトンバケットを用い粒径20cm以下のものを選別し、更に締め固めについては試験施工を実施し、品質の向上を図った
- ・また、予期せぬ土質条件により法面崩落や鋼矢板打込施工で設計変更を余儀なくされたが、協議を迅速に行い困難の克服に努めた

◆施工業者からのPR

- ・本工事の掘削や基礎鋼矢板の打込みでは、作業中の土砂崩落の危険があり、現場作業員と地域住民の緊急避難に備えるため、地山の動態観測を行いながら安全施工に努めました
- ・また、中詰め土の締め固めでは、油圧バイプロプレートを改良した小型バックホウを使用し、壁面際の困難な締め固め作業を安全に行うことができました
- ・さらに、壁面材の組立作業においては、端部位置や屈曲点など細部にわたる座標管理で、精度の高い出来形管理ができました

## 2 1 第 3 2 回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	北秋田地区統合高校（仮称）教室・管理棟 機械設備工事		
施工地名	北秋田市伊勢町		
商号又は名称	大館桂・巽・日通・古家特定建設工事共同企業体		
請 負 額	381,592,050 円	工 種 ・ 格 付	給排水暖冷房衛生設備 A級
代 表 者	大館桂工業株式会社 代表取締役 中田 直文		
許可番号	05-001918	監理技術者等	主任技術者 樋口 慎吾
(許可番号・構成員)	①05-000380 株式会社巽工業所 取締役社長 巽 弘		
	②05-002293 日通プロパン鷹巣販売有限会社 代表取締役 間瀬 利夫		
	③05-001206 古家燃料株式会社 代表取締役 古家 リチ子		
(監理技術者等)	①主任技術者 菅田 壽郎、②主任技術者 近藤 広美、 ③主任技術者 畠山 博		
発注公所	営繕課（建設交通部）		
主任監督員	白幡 俊和	監 督 員	佐藤 守
工 期	平成21年2月27日～ 平成22年12月20日	完成年月日	平成22年11月30日
概 要	1) 教室・管理棟建築物(延べ面積8,459㎡)に対する機械設備工事 (給排水暖冷房衛生設備、自動制御設備、昇降機設備等)		
特 徴	1) 本校は統合高校であり、教育内容にあわせた様々な教室がある 2) 管理棟の事務室系統への暖冷房システムは地中熱(井水)を利用 することにより省エネが図られている		
写 真			
			
KHPエアコン		地中熱利用ヒートポンプチャラー	
			設備監視盤

### ◆発注公所の表彰理由

- ・各教室・管理棟の用途ごとに多様な暖冷房、給湯、換気システムを採用しており、設計意図に対する理解と高い技術力及び幅広い経験を活かし、随所にきめ細やかな施工が伺える
- ・また、機械・機具類や配管・ダクト類の配置・収まりに関する工夫や、周辺道路の清掃など地域との調和を図り、特に県内製造品の採用を積極的に行うなど全体として調和のとれたものとした

### ◆施工業者からのPR

- ・配管工事に際し、多種多様な配管(用途別でも外観が酷似している管材)が近接して施工され、誤接続の可能性が高かったため、最もシンプルで分かり易い方法として、予め決めた色のテープを管材に貼り付けたことにより、ひとつの誤接続もなく、順調に試運転調整を行うことが出来た
- ・オイル地下タンクの設置場所が軟弱地盤だったため、その対策として耐震性に優れたトップベース工法(コマ型基礎工法)を採用

## 2 2 第 3 2 回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	湯沢地区統合高校（仮称）校舎・専攻科棟 機械設備工事		
施工地名	湯沢市湯ノ原		
商号又は名称	岩野・岡田・平鹿特定建設工事共同企業体		
請 負 額	230,421,450 円	工 種 ・ 格 付	給排水暖冷房衛生設備 A級
代 表 者	岩野設備工業株式会社 代表取締役 岩野 信雄		
許可番号	05-005386	監理技術者等	現場代理人 佐藤 進
(許可番号・構成員)	①05-007327 株式会社岡田水道施設 代表取締役 岡田 一		
	②05-009040 平鹿設備工業株式会社 代表取締役 佐藤 俊雄		
(監理技術者等)	①主任技術者 斉藤 慶太		
	②主任技術者 佐藤 雄大		
発注公所	営繕課（建設交通部）		
主任監督員	白幡 俊和	監 督 員	佐藤 守
工 期	平成21年7月6日～ 平成23年1月31日	完成年月日	平成23年1月31日
概 要	校舎・専攻課棟の建築物(延べ面積6,431㎡)に対する機械設備工事 (給排水暖冷房衛生設備、自動制御設備、昇降機設備等)		
特 徴	1) 隣接する体育館棟工事と機械設備が共用するものであるため、積極的な調整が欠かせない 2) 暖冷房機器はヒートポンプ方式を採用することにより、省エネが図られている		
写 真			
			
灯油ヒートポンプエアコン		昇降機設備	
			
多目的トイレ			

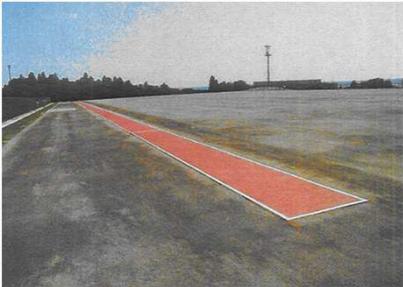
### ◆発注公所の表彰理由

- ・本工事においては、冷暖房、換気、給湯設備や衛生器具等の設計意図に対する理解を、隣接工事業者と互いに共有し、高い技術力と経験により使いやすい施設を構築している
- ・また、JV各社より社内検査員を選出し、自社検査リストにより社内検査体制を整えることで工事全体の精度の向上が積極的に図られ、随所にきめ細かな施工が伺える

### ◆施工業者からのPR

- ・本工事は、隣接した旧校舎があり、現場前の道路が通学路であったため、歩道の除排雪を行い通学路の安全確保の協力と、周辺道路の清掃やプランター花壇の設置を行い、現場周辺の生活環境に配慮
- ・現場で発生する梱包材(段ボール)をリサイクルすることで、環境にも配慮
- ・体育館棟の工事業者と積極的な意見交換を行い調整を図り、使用者のニーズに合った施工を心掛けた

## 23 第32回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工事名	こども総合支援エリア（仮称）屋外運動場等整備工事		
施工地名	秋田市上北手		
商号又は名称	むつみ造園土木株式会社	許可番号	00-009275
請負額	117,297,600円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役社長 佐々木 創太		
監理技術者等	現場代理人 三浦 正樹		
発注公所	教育庁（総務課施設整備室）		
主任監督員	池田 広志	監督員	安田 一彦
工期	平成21年9月29日～ 平成22年7月9日	完成年月日	平成22年7月9日
概要	1) グランド舗装 15,020㎡ （陸上グラウンド及びソフトボール場のクレイ舗装他） 2) 公園施設 1,058㎡（遊具1式・芝張り） 3) 交流広場 3,111㎡（土地造成） フェンス 1,414m		
特徴	1) 各種学校や施設を利用する、こどもと大人の交流やふれあい空間の提供に配慮した施工が求められる 2) 同時期に他の複数工事が施工されており、さらに工期内に学校や施設がオープンとなるため、工事間の調整と安全な作業が求められる		
写 真			
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>完成写真 (陸上グラウンド)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>完成写真 (ソフトボール場)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>公園での植樹交流会</p> </div> </div>			

### ◆発注公所の表彰理由

- ・本工事は、こども総合支援エリア(仮称)建設事業のうち、屋外運動場と公園及び交流広場を整備するものであるが、各施設において施工体制及び施工状況に優れたものがある
- ・特に他の工事との調整を積極的に行うことによって、工程のフォローアップをし、事業全体に寄与した
- ・また、施設のこども達を招き花壇の植樹交流会を企画するなど、自社の知識と経験を活用した社会的貢献を果たした

### ◆施工業者からのPR

- ・本工事は、他工事との工程・調整に特に留意し施工を進め、施工にあたっては、他工事・施設側とのトラブル・事故を生じることなく、完成出来た事を喜ばしく感じます
- ・また、施工業者 造園・土木会社としてのノウハウを十分に生かした現場で、県ご当局を始め協議会のメンバー、多くの関係者のご指導に深く感謝申し上げます

### 秋田県優良工事表彰 選考委員会名簿

選考委員長	副	知	事	堀井 啓一
選考委員	総	務	部長	佐々木 昌良
〃	農	林	水産部長	三浦 庄助
〃	建	設	交通部長	富田 耕司

### 秋田県優良工事表彰 幹事会名簿

幹事長	建設交通	部次長	星野 隆
幹事	(秋田県入札制度適正化推進委員会技術専門部会)		
〃	部	会長	及川 洋
〃	専	門委員	浅野 耕一
〃	専	門委員	永吉 武志
〃	(秋田県知事部局関係課室)		
〃	農林水産部	参事兼農地整備課長	難波 和聡
〃	水産漁港	課長	中村 彰男
〃	農林水産部	参事兼森林整備課長	宮崎 一彦
〃	建設管理	課長	塚田 善也
〃	建設管理課	技術管理室長	伊勢 礼晴
〃	下水道	課長	川井 邦宏
〃	道路	課長	柴田 明
〃	河川砂防	課長	石黒 亙
〃	営繕	課長	渡辺 一弘
〃	(秋田県教育庁関係課室)		
〃	総務課	施設整備室長	和泉 良正

# 秋田県優良工事表彰要綱

## (表彰の目的)

第1条 県が発注した工事のうち、優秀な工事を施工したものを表彰することにより、建設技術の向上を図ることを目的とする。

## (表彰の対象)

第2条 対象は、前年度完成した工事のうち、全ての工事とする。

## (表彰の名称)

第3条 名称は、「秋田県優良工事表彰」とする。

## (表彰の基準)

第4条 次のすべてを満足すること。

- (1) 当該工事の出来形が優秀であること。
- (2) 当該工事全般の管理状況が良好であること。
- (3) 当該企業において労働災害がないこと。
- (4) 当該企業における各工事の施工成績が良好であること。
- (5) 建設業法及び「建設産業における生産システム合理化指導要綱」を遵守し、他の模範とされる施工企業であること。

## (推薦)

第5条 各所属長は、表彰することが相当と認める工事があるときは、選考委員長へ推薦するものとする。

## (選考委員会)

第6条 表彰すべき工事を選考するため選考委員会を置き、その構成は、別表第1のとおりとする。

- 2 選考委員会は、次項の幹事会の調査報告にもとづいて協議し、表彰すべき工事を決定するものとする。
- 3 選考委員会に幹事会を置き、その構成は別表第2のとおりとする。
- 4 幹事会は、各所属長より推薦のあった工事について、当該工事の調査を行い、その結果を選考委員会に報告するものとする。

## (表彰)

第7条 表彰の種類は、優良工事表彰、特別表彰、地域振興局長表彰とする。

- 2 被表彰者は、施工企業の代表のほか、その工事を担当した監理技術者等とする。

## (事務局)

第8条 事務局は、建設管理課技術管理室に置く。

## (補則)

第9条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は別に定めるものとする。

## 附 則

この要綱は、昭和55年5月1日から施行する。

平成10年3月27日一部改訂  
平成12年4月1日一部改訂  
平成16年4月1日一部改訂  
平成18年4月1日一部改訂  
平成19年4月1日一部改訂  
平成20年4月1日一部改訂  
平成21年6月1日一部改正  
平成22年4月28日一部改正

1. この要綱は、平成23年4月25日から施行する。
2. 平成22年度の豪雪又は東北地方太平洋沖地震に伴い、契約事項第20条第3項又は第21条第2項の規定に基づき、工期延長された工事で、平成23年4月1日から同年同月末日までに完成した工事については、本要綱第2条に規定する前年度完成した工事として取り扱うものとする。

※上記要綱内の「別表第1」及び「別表第2」の構成員は、P29の名簿参照のこと



ニッポンの  
笑顔  
秋田から!